第3種 美国漁港
（北海道積丹町）

美国（びくに）地区特定漁港漁場整備事業計画

積丹地域マリンビジョン策定（モデル地域）

余市積丹圏域
生産拠点

現状と課題

・海域環境の変化等でスルメイカの漁期が刺網漁業の盛漁期と重なり、荷捌き作業や出荷車両が集中しており、作業効率の低下や衛生管理対策の見直しが課題。
・船揚場では冬季に長時間の除雪作業など出漁都度に大きな作業負担が強いられている。
・第3港区では、狭隘な自然浜において漁業活動が営まれており、利用者は重労働かつ非効率な漁業活動を強いられている。

港　勢　（R1港勢調査）

登録漁船：98隻
利用漁船：124隻
（内、外来漁船：26隻）
属地陸揚量：607トン
属地陸揚金額：3．2億円
主な魚種：スルメイカ、イカナゴ
組合員数：48人

◎美国漁港の役割

・周辺海域で操業する道内外のイカ釣り漁業のほか、カレイ・スケトウダラ・ホッケ刺網、ウニなど磯根漁業等の沿岸漁業の生産拠点

主　要　対　策

主な整備方針

・衛生管理対策の推進及び出荷車両動線の適正化を図るため、岸壁に屋根施設を整備して荷捌きスペースを確保するとともに、荷捌き所周辺の道路、駐車場、用地の整備を行う。
・冬季操業の就労環境を改善するため、船揚場への屋根掛け整備を行う。
・ウニを中心とした磯根漁業の生産拠点機能強化のため、前浜利用となっている第3港区において、船揚場や道路、防波堤などの整備を行う。

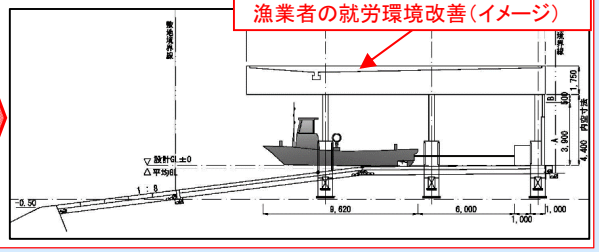
基本事項

全体事業費：24．0億円
事業期間：R3～R12

主要な対策①：衛生管理対策・出荷車両動線の適正化

イカ釣り外来船の利用

荷捌き所周辺の混雑

主要な対策②：就労環境改善

船揚場での操業前の除雪作業